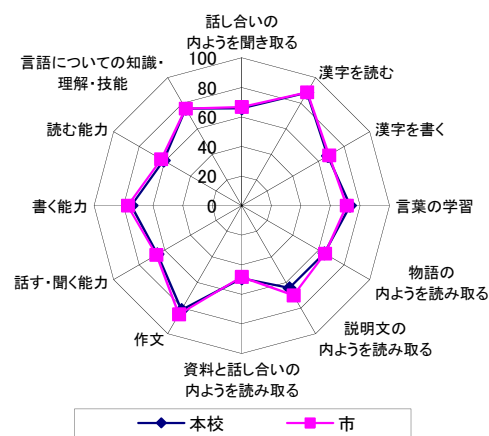


宇都宮市立御幸小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	65.9	66.6
	漢字を読む	88.4	88.4
	漢字を書く	67.2	68.2
	言葉の学習	73.3	71.0
	物語の内ようを読み取る	64.5	64.9
	説明文の内ようを読み取る	64.3	70.1
	資料と話し合いの内ようを読み取る	49.1	48.3
	作文	81.5	84.9
観点別	話す・聞く能力	65.9	66.6
	書く能力	74.7	77.1
	読む能力	61.0	63.0
	言語についての知識・理解・技能	75.9	75.8



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・平均正答率は、市の平均を0.7%下回った。特に、「話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く」という問題の正答率が低かった。	・基本的な学習訓練の指導を繰り返し行う。また、意図が正確に伝わるような話し方の指導を行うとともに、聞き手はしっかりとメモを取れるよう指導していく。そして、グループ学習やペア学習を積極的に取り入れ、話し合いをする機会を多く設けるようにする。
漢字	・平均正答率は、「読み」については市の平均と同じで、「書き」については市の平均を1%下回った。「書き」の問題は、第4学年で学習した漢字からの出題であったが、「希望」の正答率が低かった。	・漢字の読み書きについては、ドリル等で繰り返し学習を行い、家庭学習や小テストなどを取り入れながら定着を図っていく。また、文脈の中での漢字の使われ方も押さえられるようにしていく。
言葉の学習	・平均正答率は、市の平均を2.3%上回った。設問全てにおいて正答率が高かったが、特に、漢字の成り立ちについての問題の正答率が高かった。	・国語辞典の活用を図り、言葉に関心をもてるように指導していく。また、朝の会や帰りの会、朝の学習の時間などを活用しながら、慣用句やことわざを紹介し、伝統的な言語文化に興味関心を持てるようにしていく。
物語の内ようを読み取る	・平均正答率は、市の平均を0.4%下回った。「登場人物の気持ちを読み取る」「場面の描写をとらえて、表現の特徴をつかむ」という問題の正答率は高かったが、「場面の情景を読み取る」という問題の正答率が低かった。	・物語文を読み進めていく中で、登場人物の気持ちや様子、情景描写などに着目しながら読むように指導していく。そして、朝の学習の時間なども利用し、物語に触れる機会を増やし、読書を奨励していく。
説明文の内ようを読み取る	・平均正答率は、市の平均を5.8%下回った。特に、「文章の構成をとらえながら、内容を的確に読み取る」という問題の正答率が低かった。	・説明文を読み取っていく過程で、段落相互の関係を的確に押さえながら読んだり、要点を確認しながら読んだりすることができるよう、接続詞や指示語に注目させて指導していく。
資料と話し合いの内ようを読み取る	・平均正答率は、市の平均を0.8%上回った。しかし、「話し合いの内容を正確に読み取る」という問題については、正答率が低かった。	・学級活動の時間なども利用しながら、話し合いをする機会(パネルディスカッション・ディベート等)を多く設け、話し合いの目的や意義を的確に捉えられるように指導していく。
作文	・平均正答率は、市の平均を3.4%下回った。指定された長さで文章を書いたり、2段落構成で書いたりということが十分にできていない。	・各学習において、自分の意見を書く機会を多く設けていく。また、作文のきまりの習得を徹底し、原稿用紙を使って正しく書けるように指導していく。